

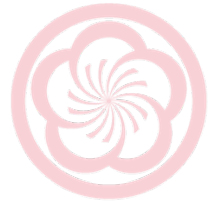
婦人会報

令和五年
5月2023年
立教186年



天理教婦人会旭日支部

通巻527号



天理教婦人会第一〇五回総会

婦人会長様ご挨拶（要旨）

日頃は、お道のご用、婦人会活動の上に懸命におつとめくださり、誠にご苦勞様でございます。また、昨年十一月二十七日に開催いたしました第三十回女子青年大会には、大勢の女子青年がおぢばに集い、真柱様のメッセージを聞かせていただき、教祖百四十年祭に向かう心をつくってくれたことと思います。丹精し導いてくださった皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

女子青年の明るい笑顔や、勇んでひのきしんをする姿は、将来への希望を抱くとともに、大切にしっかりと育てさせていただかなければならない責任を感じた次第です。この若い方たちが、今後も年祭に向かって確かな歩みを進められるように、引き続きお導きくださ

いますようお願いしたいと思います。それぞれ支部、委員部、教区の例会やそのほかの行事においても、参加する会員よりも、参加していない会員がはるかに多いことを思いますと、婦人会活動は行事をするだけではなく、全ての会員の丹精に、日々心を尽くしていくべきなのだと思います。また、婦人は会員だけではなく、我が子はもちろんのこと、信者さんや周りの方を育てる役割がありますから、まず自分自身が育つ努力を重ねながら、育てる人と共に成人の歩みを進めていくことを常に心がけましょう。

◇

婦人会では、会員の中の高校一年生になる年齢から二十五歳までを女子青年の期間としています。以前から、年

齢の上限を二十五歳から上げてほしいという声を聞くことが多くなりましたので、支部長・主任の皆さんに意見を聞いた上で話し合いを重ねました。年齢を上げてほしいという理由は、「この年齢に定まった五十数年前とは、社会状況も大きく変わり、結婚年齢も上がっている」「二十四、五歳頃から信仰を求めようになる」「働き盛りの頃に女子青年の期間が終わってしまうのはもったいない」「女子青年を卒業してしまうと育てる場がなくなる」というものでした。なるほどと思うこともありましたが、議論を重ねるうちに、上限を何歳にするかということよりも、少年会を卒業して、婦人会員になってからの最初の十年が大切なのだということに思い至りました。

素直で柔軟な心の時期に、よふぼく、道の台としての素地、基盤を作ることが重要なことだと、改めて気づくことができたのでございます。婦人会はすべての会員を育てることが目的ですから、二十六歳以上の方達も心を離さず丹精をお願いしたいと存じます。例会に来るように声をかけたり、ひのきしんを頼んだり、育てる側の気持ち次第だと思いますので、心をかけ、声をかけて、よふぼくらしいよふぼくへ育てさせていただきましよう。



「諭達第四号」に「教祖の親心にお応えすべく、よふぼく一人ひとりが教祖の道具衆としての自覚を高め、仕切つて成人の歩みを進めることが、教祖年祭を勤める意義である。」とお示しいただきますが、私たちが常々口にし、目指している「成人」とは何でしょうか。真柱様は、念頭のご挨拶の中で、「年祭へ向かつて三年千日と仕切つてつとめる

この期間は、普段よりも力を入れて成人を進める旬である、成人というのは心の成人である、おつとめを勤めてご守護いただくのも、人が話を聞き分けるようになつてくれるのも、つとめる者の心の成人ということが大きく関わっていると思う。」とお聞かせくださいました。「心の成人」について、それぞれ思われることはさまざまだと思います。私は、教祖のひながたを目標に教えの実践を積み重ねた先に、心の成人があると思うのでございます。心の成人とは、常に神一条の精神、態度で通れるようになることだと思っております。人間思案を捨てて、親神様を信じきる、もたれきる心とその行いが神一条だと思うのですが、人間は目の前のことに心をとらわれ、喜んだり悲しんだり悩んだり、右往左往してしまいます。しかし、親神様は、子供可愛い、たすけたい一条の親心で、先の先までお見通しの上で、一番い

い道を通らせようと思召されています。教祖は、先人の当時の常識的な考えからの判断も十分ご理解くださつていた上で、人間思案を捨てて、親神様を信じ、もたれきつて、仰せ通りに素直に実行すれば、人間の考えでは思いも寄らない結構なご守護をくださるのだという、神一条の精神で通ることをお仕込みくださつたと思うのでございます。



また、「諭達第四号」に「ふしから芽が出る」と、成つてくる姿はすべて人々を成人へとお導き下さる親神様のお計らいであると諭され、周囲の人々を励まされた。とお示しいただいています。人生の節目と言うように、ふしは区切りという意味ですが、お道では身上事情もふしと言われます。苦難、困難なことは、誰もが避けて通りたいところですが、悩みや苦しみのない人生はないと思うのです。しかし、それは親神様が一人ひとりの魂をご承知

の上で、通るべきふしをお与えくださるのです。そのふしから折れてしまうか、芽を出して伸びていくのか、それはふしに出遭った人の心にかかってくるのでございます。

前真柱様が、お話の中で「ふしから芽の出るご守護を頂けるような努力をすること、まことに、ひながたの道をたどらせて頂くことになる」としても過言ではない」と仰せられたことがございました。

教祖の五十年の道すがらは、筆舌に尽くしがたい、苦難困難の連続でしたが、それは後に続く私たちに、ふしを乗り越える心の持ち方、通り方の手本を御自らお通りくださって、お残しくくださったのでございます。どんな苦しいこと、つらいことがあつても、親神様は人間の親ですから、子供を苦しめよう、困らせようと思われはるはずはないのです。実の親と同じように、子供のためを思つて注意もし、正しい方向へ導いてくださるのですから、成つてくることから何を教えてくださっているのか、深い親心を思案し、そのお心に沿わせ

ていただくことによつて、ふしを乗り越えることができ、一歩成人させていただけなのだ、ふしを乗り越えることで、いんねん納消の道を通らせてくださり、その先には喜びをお見せくださるということ、教祖はひながたを通してお仕込みくださったのでございます。親神様を信じて、ふしから芽を出すご守護をいただく努力をし、神一条の精神を培つていきましょう。



にをいがけ・おたすけの實行によつて、親神様のご守護、教祖の指導きを感じさせていただけるのでございます。その感動を、我が子や孫、身近な人が共に感じる事ができるように心がけることが大切だと思ひます。この唯一無二の教えを、自信を持つて一人でも多くの方に伝えし、聞いて下さった方が、子や孫にも伝えてくれるように、また一人でも多くの方に伝えてくれるようになるまで丹精をしなければ、教えは広がつていかないのです。宗教を信仰することは個人の自由で

ありますが、お道の教えは、一代限りでいいというものではありません。縦の伝道と横の布教をしなければ、いつまでたつても、陽気ぐらし世界は実現できません。

このお道は、天の理の教えでございます。親が子供に正しい考え、行いをしつけるように、元の神・実の神、全人類の親である親神様が、子供である人間に、元初まりの真実を明かし、天然自然の理、真の幸せな生き方である、互い立て合いたすけ合い、明るく陽気に暮らす方法をお仕込みくださる教えです。この尊い親の教えを、未だ知らない多くの人に、自信と誇りを持つて伝え広めることができるよう、自ら教えを求め正しく学んで、素直に実行しましょう。教祖百四十年祭に向かつて、すべての婦人会員が、心の成人を指して努力を重ねてくださるよう、今日ここにおられる皆様から、身近な方に伝えていつていただきたいと思ひます。そして共に教祖にお喜びいただける成人の歩みを勇んで進ませていただきましょう。

天理教婦人会 第105回総会

2023/04/19

参加された皆様の声

この旬に自らが育つ努力、自らの心の成人を心に置いて一日一日を過ごして参りたいと思います。

親子で参加することができてよかったです。子供に信仰が伝えられるよう日々喜んでつとめさせて頂きたいと思いました。

久しぶりの婦人会総会に、帰らせて頂き嬉しかったです。毎日を教祖に喜んで頂ける日を送れているか自分に問いながら過ごしていきたいと思います。

ひながたをたどり陽気ぐらしを心に決めて、主人の介護を努めます。



初めて参加しました。毎日笑顔で過ごしたいと思います。



三年千日仕切って心の成人を頑張らしましょう！

おたすけの喜びを味わえる年祭活動にしたいです。

一代の信仰ではなく、子や孫にと繋いでいきたいと改めて思いました。

今生かされている事に喜び、何事も喜んで楽しく、前向きにいこうと思います。

教祖140年祭に向けての三年千日、心の成人に向けて、自分にできるひのきしんをさせて頂きます。

教祖のひながたを思い返し日々通らせて頂こうと思います。心を澄ます努力をします。自分の人生を振り返ったとき、信仰していて良かったと思える様に歩いていこうと思います。

三年千日できるだけおちばに帰らせて頂きたいと思います。

2023年度婦人会旭日支部女子青年

女子青年委員長 松田実和(櫛高)
副委員長 岡本育代(直轄)
副委員長 関 一紗(高天)

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

また、今後の女子青年活動が以下のように決まりましたので、お声かけをいただき活動の輪が広がりますようお願いいたします。

女子青年係 山崎さとえ・森下由紀子・村井みちよ

日時	内容
4/2 (日)	初例会
5/3 (水) 13時～17時	こかん様につづく会
6/3 (土) 13時～	例会
6/24(土)	大教会月次祭参拝強調日 ☆コーヒーコーナー
7/30(日)	こどもおちばがえりひのきしん
8/19(土) 10時～15時	例会
9/16(土) 10時～15時	例会
9/24(日)	大教会月次祭参拝強調日 ☆コーヒーコーナー
10/28(土) 12時半～17時	若人のつどい
11/5 (日)	婦人会総会ひのきしん
12/10(日)	大教会大掃除
12/24(日)	大教会月次祭参拝強調日 ☆コーヒーコーナー

◎毎月 24 日祭典後、ロビーでコーヒーのテイクアウトや、活動の紹介をしています。

6月、9月、12 月の参拝強調日は、スイーツ付きのコーヒーのテイクアウトをします。皆さん、是非お立ち寄りください。

六月例会案内

日時 六月五日(月) 午前十時
 場所 旭日大教会
 内容 教祖祭

お願いづとめ
 お手なおし(七下り目・八下り目)
 昼食

※ 六月より、昼食は食堂にてお召し上がり頂きます。
 ※ 社会状況により変更になる場合がございます。



六月例会役割

扨者	庄司 典子	吉田 せつ
賛者	松田よし子	村井みちよ
指図方	木村 昌子	

五月月次祭炊事当番

係員 杉本かおり 萩原 知美

※9時までにはエプロン・三角巾を持参の上お越し下さい。

五月親子参拝場ひのきしん当番

係員 山村 千絵

◇四月より「月次祭託児」ではなく、育成室にて親子で参拝する部屋を「親子参拝場」として設けていますので、ご利用下さい。
 午前九時十五分より祭典終了までです。

女子青年例会案内

日時 6月3日(水) 13時集合
 場所 旭日大教会
 内容 着付け勉強会、お茶会
 ※社会状況により変更になる場合がございます。



旭日大教会ホームページより、カラーでご覧頂けます。
 ご活用下さいますようお願い致します。

URL <http://asahi49.net>



「旬来れば花が咲く」

一つ大き理を定め。

旬来れば花が咲く。

(おさしづ 明治25年5月1日)



発行日 令和五年五月五日

発行者 岡本道子

発行所 天理市田井庄町一二八
天理教婦人会旭日支部